



# すすらんだより

ホームページ <http://www.suzuran-hosp.or.jp>E-mail [info@suzuran-hosp.or.jp](mailto:info@suzuran-hosp.or.jp)

## 謹賀新年

理事長 志田 勇人

新年あけましておめでとうございます。

また昨年、北海道胆振東部地震により被災された

皆さまにおきましては謹んでお見舞い申し上げます。



昨年の大きな出来事と言えば、やはり地震とそれに伴うブラックアウトであろうかと思えます。皆様方におかれましても大変な体験をされたと思いますが、多くの患者さんが入院されている当院にとってもまさに長時間停電は患者さんの命にかかわる深刻な事態でした。しかし職員をはじめとする関係者の献身的な働きによって大きな事故もなく乗り切ることが出来ました。今回の地震は、我々医療者にとって患者さんの命をお預かりしている責任の重さを再確認させられる出来事でありました。今回の経験を教訓として今後も未曾有の災害に対応できる体制を整えていく次第であります。

今年は「平成」が終わり、新たなる時代を迎えます。当院も新しく生まれ変わる気持ちで皆さまと共に次の時代を迎えたいと願っています。そして入院患者さん、そのご家族様、地域の方々に健やかに過ごしていただけるよう職員一同頑張っていきたいと思っていますのでどうぞ宜しくお願いします。



# 当院に臨床工学技士が入職しました！

## よろしくお願ひします！



初めまして。

札幌に就職していましたが、やはり生まれ育った地元の近くで仕事をしたいという思いが強くなり、昨年10月に札幌ライラック病院での研修を経て11月中旬から登別すすらん病院に臨床工学技士として常勤することになりました。

臨床工学技士となったきっかけは、もともと機械に触れることが好きだったことと、姉が病院通いがちだったので病院で機械を操作する臨床工学技士に興味をもったからです。

急性期病院、外来クリニックに従事していた経験を生かして医師、看護師、各医療専門職と連携し当病院、ひいては地域の皆様の医療サービス向上に努めたいと思っております。



佐藤 大介  
(臨床工学技士)



## 臨床工学技士はどんな仕事？



医学の進歩につれて医療機器も高度化し、医学的、工学的な知識を持って機器を操作できる専門家が必要となり生まれたのが臨床工学技士です。医師・看護師をはじめ他の医療専門職と医療チームを組んでおり、その中で患者様の生命に直接関わる機器を安全かつ的確に操作・管理する役割を担っております。

当院では人工呼吸器を装着している患者様の受け入れも行っておりますが、この人工呼吸器も操作・管理しております。臨床工学技士は人工呼吸器が安全に使用されているか、また、装置に異常がないかなどを確認します。また、患者様の容体を確認し、医師と連携して患者様一人ひとりに合った治療を提供しております。



医療法人

登別すすらん病院

〒059-0027 登別市青葉町 34 番地9

電話番号 0143 (85) 1000 (代表)

診療科目：内科・消化器内科・リハビリテーション科

診療時間：平日 午前 9:00~12:00 午後 13:00~16:30

